

細方眼のグラニースクエアボトムバッグ

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *



■使用糸…T シャツヤーン

■使用針…かぎ針 8mm

■使用量…約 450g

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *

■ 編み方

① わの作り目をして、1段目は細編み 6 目、2 段目は 1 目に 2 目ずつ編みいれて細編み 12 目編みます。



② 2段目までは円の状態ですが、3段目からは四角く編んでいきます。

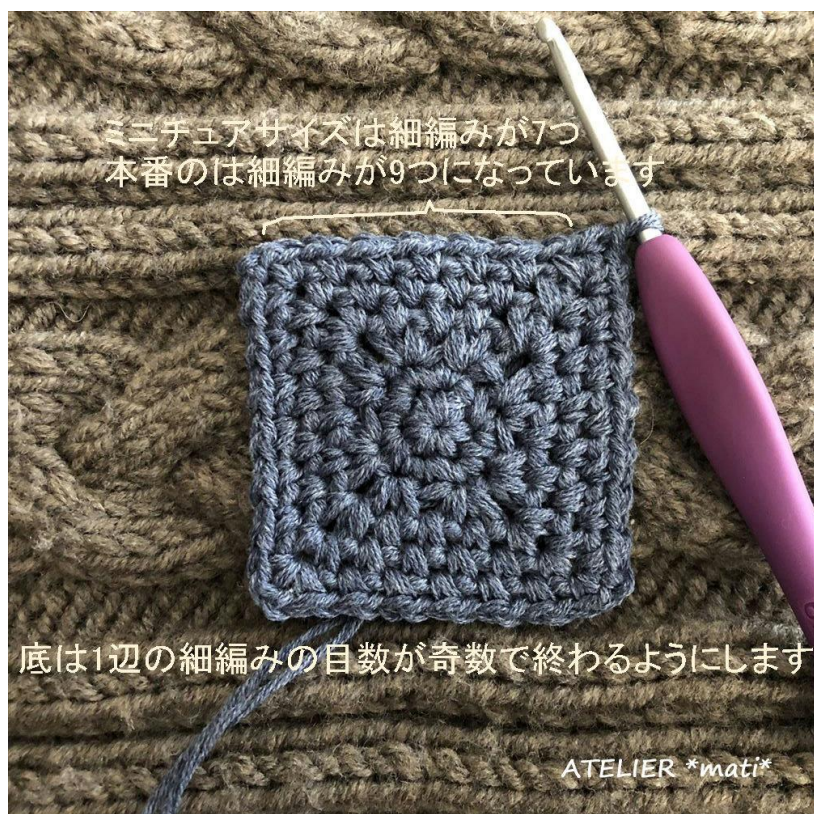
最初の目に「細編み1目＋鎖編み1目＋細編み1目」を編んだら、鎖編み1目編んで1目飛ばして「細編み1目＋鎖編み1目＋細編み1目」を編みます。これで1辺編めました。

角の分の鎖編み2目編んだら、次の3目にも同じ様に編んでいき、さらに次の3目にも同じく編み…と4辺を編みます。



4 辺編むと自然と四角形になります。

③ あとは角の鎖編み 2 目のところに「細編み+鎖編み 2 目+細編み」、それ以外は前段の鎖編みを束に拾って細編み、細編みと細編みの間には鎖編み 1 目の細方眼を編んで、どんどん大きくしていきます。



底の 1 辺の細編みの数が、必ず奇数になるように編んでください。

④ 好きな大きさまで編めたら、ここから辺の真ん中で減らし目をしてバッグの形にしていきます。



角のところは今までと変わらず「細編み+鎖編み 2 目+細編み」を編み、辺の真ん中のところだけ鎖編みを編まずに細編み 2 目をくっつけて 1 周編みます。

⑤ 次の段は、角のところは同じように「細編み+鎖編み 2 目+細編み」で、辺の真ん中にくっついた細編み 2 目を飛ばします。

(前段の鎖編みに細編みを編んだら、くっついた細編み 2 目を飛ばして、次の鎖編みに細編みを編む)



1 周編むと、器のように形が変わります。





あとは、同じ様に繰り返すだけ。

角は「細編み+鎖編み 2 目+細編み」、真ん中以外の辺は細編みと鎖編み 1 目の細方眼、

辺の真ん中は、くっついた細編み 2 目を飛ばして、細編み 2 目をくっつけて編みます。

角で増し目、辺の真ん中で減らし目しているので、1 辺の目数は何段編んでも変わりません。

細編みの目数を数えながら編むと間違いがなくていいと思います。



縦長、浅めなどお好みの高さになるまで編みます。

- ⑥ ある程度編めたら、同じ様に角で増し目・辺の真ん中で減らし目しながら長編み+鎖編み 1 目の方眼編みを 1 段編みます。



- ⑦ 長編みの方眼が 1 段編めたら、細方眼の段を 1 段編んで持ち手に入ります。



角に細編み 1 目編んだら、鎖編み（本番のバッグでは 20 目にしました）を編んで、隣の角に繋げます。
角には細編み 2 目編みいれて、辺の真ん中の減らし目はこれまで同じように編みます。



⑧ 持ち手の鎖編みが編めたら、1段編みます。

持ち手の鎖編みには細編み（半目と裏山を拾いましたが、裏山だけでも OK）を編み、角に編んだ細編み 2 目は飛ばして、細方眼を編みます。

辺の真ん中の減らし目はこれまでと同じ。

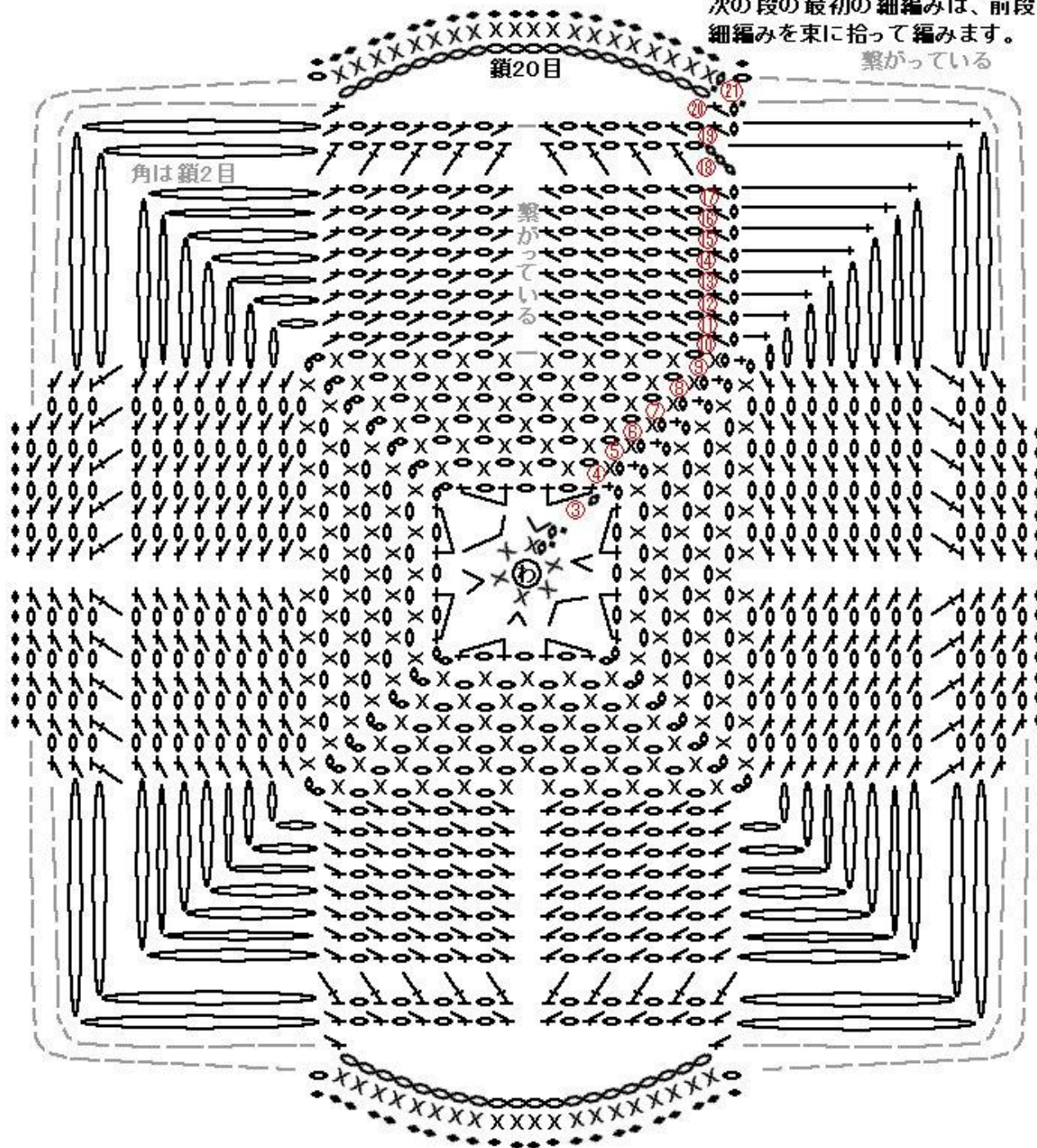


⑨ 持ち手が編めたら、最後にぐるっと引き抜き編みを編みます。引き抜き編みを編むことで持ち手がしっかりしますが、なくても OK です。

サイズ変更は、底の最終段の 1 辺の細編みの目数を奇数にしてください。

※ 編み図は次のページにあります。

段の編み終わりは、鎖編み2目の代わりに
鎖1目+細編みを編んで、
次の段の最初の細編みは、前段最後の
細編みを束に拾って編みます。



$\begin{matrix} X \\ \diagup \end{matrix}$ } = どちらも細編み
 $\begin{matrix} \diagup \\ \diagdown \end{matrix}$ = 前段の目に「細編み1目+鎖編み+細編み」を編む